

登録コード	L1142900	開講年度	2026	
担当教員	早坂 俊廣	副担当		
授業科目	哲学・思想論発展演習IX			
英文授業名	Philosophy Advanced Seminar IX			
授業タイトル	中国思想発展演習			
単位数	2	対象学生		講義期間 後期 曜日・時限 木曜・2時限
講義室	人文501演習室	遠隔授業科目		読替科目
信大コンピテンシー	非該当			
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素		⇔	【授業の達成目標】
	2022Lカリ, 2021Lカリ			
	【2022年度以前加修対象】異質・多様なものを理解し、寛容かつ多面的に判断することができる受容力		⇔	異質・多様なものを理解し、寛容かつ多面的に判断することができる。
	2026Lカリ, 2025Lカリ, 2024Lカリ, 2023Lカリ			
	【2023年度以降加修対象】人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力が身についている。【思索力・受容力・批判力】		⇔	教科書の内容を正確に理解し、的確に吟味することができる。
	【2023年度以降加修対象】専門的学力を基盤とし、持続可能な社会を実現するための課題に取り組む力が身についている。【開拓力・企画発想能力】		⇔	教科書の内容を把握し、それを現代社会に適用することができる。
授業で学べる「テーマ」	芸術文化、多文化協働			
全学横断特別教育プログラム				
授業の概要	小島毅『近代日本の陽明学』という書物を講読しながら、「陽明学」という思潮について考察と理解を深めていただきます。毎回、担当者を決めて、内容要約・問題提起・考察を報告していただきます。その報告をめぐって受講者全員で討議を行います。報告と討議を通して、批判的な分析能力を養うとともに、レポート・論文を作成する技法も習得していきます。			
授業計画	第1週 ガイダンス 第2週 陽明学概観 第3週 「序文」と「プロローグ」、「エピローグ」を読む 第4週 「エピソードI 大塩中斎一やむにやまれぬ反乱者」を読む 第5週 「エピソードII 国体論の誕生―水戸から長州へ」を読む 第6週 「エピソードIII 御一新のあと―敗者たちの陽明学」を読む 第7週 「エピソードIV 帝国を支えるもの―カント・武士道・陽明学」を読む 第8週 「エピソードV 日本精神―観念の暴走」を読む 第9週 「エピソードVI 闘う女、散る男―水戸の残照」を読む 第10週 「増補I 近代における朱子学・陽明学」を読む 第11週 「増補II 互理章三郎と西田幾多郎の陽明学発掘作業」を読む 第12週 「増補III 中江兆民の自由論」を読む 第13週 「増補IV 渋沢栄一の自由論」を読む 第14週 全体討議 第15週 まとめ・授業アンケート 定期試験：なし（レポート提出）			
成績評価の方法	発表と授業中の発言50%/最終レポート50%の比率により、最終的な成績を決定します。			
成績評価の基準	成績評価の基準は以下の通りです。 成績評価の対象となる各項目について、(i) 熱心な態度と明確な貢献が際立っており、建設的かつ説得的な内容を備えた報告が提出されていれば「卓越している」。(ii) 熱心な態度と十分な貢献が認められ、適切かつ整合的な内容を備えた報告が提出されていれば「かなり上にある」。(iii) 真摯な態度とある程度の貢献が認められ、十分に妥当な内容を備えた報告が提出されていれば「やや上にある」。(iv) 妥当な態度とある程度の貢献が認められ、瑕疵のないまとめと論理性を備えた報告が提出されていれば「水準にある」。			
事前事後学習の内容	教科書を、事前事後に熟読玩味してください。			
履修上の注意	教科書は必ず購入してください。			
質問、相談への対応	まずは、メールでhayask@shinshu-u.ac.jpまで連絡をください。			
教科書	小島毅『近代日本の陽明学』（講談社学術文庫） 1,250 円+税 発行年月 2024年3月 ISBN 9784065352144			
参考書	授業時に適宜、紹介します。			